

2 食育の推進に向けた取組

(3)食文化を継承し、持続可能な環境を大切にしていきます。

ライフステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの実施
					R6年度の対象者、事業名、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
全体	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから大人まで、急須で入れた狭山茶を飲む習慣を作ります。</li> <li>「食」に感謝し「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をします。</li> <li>地場産物への理解を深めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産者等と協力し、狭山茶が飲める場所を増やします。</li> <li>狭山市茶業協会と連携し、お茶の美味しさやいれ方を伝える機会を増やします。</li> <li>「いただきます」「ごちそうさま」の意味を広めていきます。</li> <li>給食や会食等の機会には、「いただきます」「ごちそうさま」の声をかけます。</li> <li>産地や生産者を意識して選ぶ大切さについて伝えます。</li> </ul>	狭山市ビジネスサポートセンターにおいて、地場産物を活かした売り上げ拡大や創業支援を行い、消費者が産地や生産者を意識できる環境を醸成していきます。	狭山市ビジネスサポートセンターにおける相談件数(飲食業・農林水産業):120件	5	産業振興課	実施していない
				市内で行われるイベントで、狭山茶に関する製品のPRを行います。	イベント回数10回 シンサヤママーケット:参加者数未計測	5	商業観光課	実施していない
				日本茶体験授業に係る教職員向け事前研修を開催します。 イベントへ出店し湯茶接待等を行います。	【開催】 8月2日(金)日本茶体験授業に係る教職員向け事前研修開催 対象:市内全23校(小中学校) 【出店】 狭山新茶と花いっぱいまつり、狭山市入間川七夕まつり、さやま大茶会、狭山市農業祭へ出店	5	農業振興課	実施していない
				<ul style="list-style-type: none"> <li>緑茶に親しむため、職員が年長児の前で急須を使い緑茶を入れ、子どもたちと飲みます。</li> <li>散歩時、茶畑で実際に茶葉を見たり、給食で狭山茶が提供された際に、狭山市がお茶の名産地である事を伝え、色や香りを感じられるような声かけをし、味わいました。</li> <li>古谷園の方より狭山茶について、お茶の入れ方や濃度の話などをいただき、実際に急須を使用した入れ方を教えてもらうことで興味関心が深まりました。教えてもらったことを家族に話し、実際に家庭でお茶を飲むことで機会が増えました。茶畑見学もさせていただきました。</li> <li>食に対する感謝の意味を知らせるため、年齢に問わず「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを含め食事のマナーを課題に取り入れていきます。</li> <li>「いただきます」とは、命を頂いているありがたいことだと、分かりやすく理解してもらう為に、絵本を用いたことで、食事の挨拶を丁寧にしようとしていたり、苦手な物も食べてみようとしていたり残飯が減りました。</li> <li>〈十日夜〉・地元の方を招き、ご指導のもと行い、わらでつぼうを作り、田畑の神様に感謝し豊作を願います。</li> <li>〈まゆ玉〉小正月のころに豊作や人々の幸せを願ってまゆ玉作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 午後のおやつ時間に実施 (幼児クラス)</li> <li>令和6年7月に古谷園さんにお茶指導をしてもらい、11月の個人面談にきた保護者にお茶入れをする(5歳児)</li> <li>乳児保育者と一緒に手を合わせ挨拶をする。</li> <li>幼児食事のマナーを意識しながら食事をする。</li> <li>5歳児が令和7年3月に3,4歳児に向けてお茶会を開催した。</li> <li>年4回食育の集会</li> <li>〈十日夜〉5歳児</li> <li>〈まゆ玉〉5歳児</li> </ul>	5	保育所	実施していない
				狭山茶に親しめるように、急須で入れるところを見せたり、先生や友達と一緒にお茶を飲む機会をつくります。 昼食時に先生や友達と一緒に食事をし、コミュニケーションの楽しさを伝えていきます。また、お弁当を作ってくれる家族に対して感謝の気持ちをもたせながら「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶ができるようにします。	5歳児対象(新茶体験) 全園児対象	4	入間川幼稚園	実施していない
				<ul style="list-style-type: none"> <li>新茶の出る時期に年長児を対象に急須などの名称を知らせ、お茶の入れ方を目の前で見せ、狭山茶を味わう機会を作ります。</li> <li>昼食時は、必ず「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶の指導をします。</li> </ul>	新茶体験1回	5	水富幼稚園	実施していない
出前講座や住民主体で活動する「いきいき百歳体操」への支援として行う栄養講座の機会を活用し産地や生産者を意識して選ぶ大切さについて伝えます。	「いきいき百歳体操」における栄養講座 13回	4	介護保険課	実施していない				

2 食育の推進に向けた取組

(3)食文化を継承し、持続可能な環境を大切にしていきます。

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
				健康(=Wellness)を目指す過程(=Journey)を表現した「さやまウェルネスジャーニー」の取組や健康づくりに関係する団体の活動、健康づくり講座等で狭山茶の提供や「いただきます」「ごちそうさま」の声かけに努めます。	健康マイレージ登録会54回 SAYAMA Wellness Journey(さやまウェルネスジャーニー)3回	4	健康づくり支援課	実施していない
				各種講座、相談、依頼健康教育の場で実施します。	乳幼児期(マタニティスクール、ばくばくベビー、離乳食講習会、食育講習会、依頼健康教育の実施) 学童・思春期(リーフレットの配布、デジタル連絡ツールでの配信、子どもお弁当教室の実施) 青壮年・高齢期(各種生活習慣病予防教室、相談、依頼健康教育の実施)	5	保健センター	実施していない
				狭山市茶業協会と連携し、狭山茶(緑茶)のことを学び、飲茶による健康と市の特産品への愛着・理解を図るため、教職員に向けた研修会を行います。また、狭山茶業協会の方を講師として小学校に招き、狭山茶出前授業を児童に向けて実施し、お茶の美味しさを味わうや作法等の体験を行います。	教職員対象 日本茶体験事業研修会 1回 23人 日本茶出前授業小学校で実施	5	教育指導課	実施していない
				・狭山市茶業協会と連携し、狭山茶(緑茶)のことを学び、飲茶による健康と市の特産品への愛着・理解を図るため、教職員に向けた研修会を行います。また、狭山茶業協会の方を講師として小学校に招き、狭山茶出前授業を児童に向けて実施し、お茶の美味しさを味わうや作法等の体験を行います。 ・給食の時間、学級活動、道徳等の中で食の指導を推進します。 ・社会科や総合的な学習の時間の授業での指導を推進します。	教職員対象 日本茶体験事業研修会 1回 23人 日本茶出前授業小学校で実施 全小中学校23校で推進、実施	4	学校	実施していない
				農業振興課、狭山市茶業協会と連携し、狭山茶を使った給食を提供します。また、全小学校2・3年生を対象に、学校訪問を実施し、「いただきます」「ごちそうさま」の声かけをします。	・22回(狭山茶プリン含む)狭山茶を使った給食を提供。提供内訳小12回、中10回。 ・2年生に『いただきますごちそうさま』の紙芝居を使用し、食育指導を行った。	4	給食センター	実施していない

2 食育の推進に向けた取組

(3) 食文化を継承し、持続可能な環境を大切にしていきます。

ライフステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの実施
					R6年度の対象者、事業名、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
乳幼児期	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の栽培や地域の農産物に触れます。</li> <li>家庭や地域の食文化に触れ、体験します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所、幼稚園等で、地域でとれる農産物にふれる場や機会を増やします。</li> <li>家庭での食事がおいしく、楽しい体験となるよう、乳幼児健診、教室、相談や保育所等で伝えていきます。</li> <li>地域の食文化に触れ、体験できる機会(調理等)を作ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが土と親しみながら作物を育て、その収穫の喜びを味わうなど、体験を通じ、農業の大切さを実感できるよう、保育所、幼稚園、小中学校において、農業体験事業を実施します。</li> </ul>	学童農業体験事業実施校数 ・13保育所 ・1幼稚園 ・16小学校 ・7中学校	4	農業振興課	実施していない
				<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児クラスを中心に育てたい野菜を子ども達と相談し、畑やプランター等で育てて行く中で、生育を観察したり収穫を楽しみにしながら触れる機会をもちました。</li> <li>乳児クラスもプランターに水やりをしたり、幼児クラスが育てたじゃがいもを掘ったりし、野菜に興味をもって過ごしています。</li> <li>保育所近くの畑を借りており、ジャガイモ、サツマイモ、トマト、きゅうり、ナス、大根の栽培をし、収穫した野菜でクッキングを体験する機会を設けました。野菜のおいしさを伝えました。 ・収穫した野菜を使用したクッキング保育(カレー・ポップコーン・ピザ・さつま芋スティック・みそ汁)も経験することができました。</li> <li>日本の食文化を伝承するため、年長児が自らさきぎを育て、収穫し卒園祝いに赤飯にして食べます。</li> <li>サツマイモの蔓を使ってのリース製作も楽しむことができました。</li> <li>野菜の生長過程を可視化して廊下に貼り、皆が見られるようにし、集会でクイズ形式等を用いて興味を深められるようにしました。</li> <li>畑やプランター栽培を通じた活動をドキュメンテーションにまとめ、保護者に伝えました。</li> <li>土に触れて野菜の収穫を体験するため、保護者会活動の一環で地域の畑でさつま芋掘りをします。</li> </ul>	5月 ささげまき 11月 さつま芋掘り 3月 収穫、赤飯 ・【育てた野菜】 ・5歳児:トマト、ナス、サツマイモ、大根、ジャガイモ ・4歳児:ピーマン、カブ ・3歳児:きゅうり、はつか大根	5	保育所	実施していない
				<ul style="list-style-type: none"> <li>園庭の花壇で採れた野菜を使って、カレーパーティー、味噌汁作り、夏野菜を食べる活動を取り入れます。収穫した野菜を園や家庭で調理します。収穫した野菜を調理した弁当のおかずの写真を掲示します。お月見団子作りなど昔からの食文化に触れる機会を設けます。</li> </ul>	実施回数6回	4	入間川幼稚園	実施していない
				<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の栽培を年間で計画し、収穫したものを園で調理したり、家庭に持ち帰り、家庭で調理してもらい、味わう体験をします。</li> <li>行事食を楽しみにし、調理に参加する機会を大切にします。</li> </ul>	カレー調理、月見団子作り、スイートポテト作り各1回、味噌汁等を味わう2回	4	水富幼稚園	実施していない
				<ul style="list-style-type: none"> <li>マタニティスクール、ばくばくベビー、乳幼児健診時の離乳食講習会・食育講習会、乳幼児の依頼健康教育にて実施します。</li> </ul>	マタニティスクール(6回67人) ばくばくベビー(6回52人) 離乳食講習会(乳幼児相談時12回延べ186人、4か月健診時15回334人) 食育講習会(1歳6か月健診時16回833人、3歳児健診時16回890人) 依頼健康教育(8回63人)	5	保健センター	実施していない

2 食育の推進に向けた取組

(3) 食文化を継承し、持続可能な環境を大切にしていきます。

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
				「奥富の田んぼ1年プロジェクト(共催: 柏原公民館)」のうち、手植えによる田植え体験について、小学生未満の子ども(保護者同伴)を含めて一般参加を募ります。	田植え体験1回 参加者15名のうち小学生未満6名	5	奥富公民館	実施していない
				地場産物などに関する内容の講座などを実施し、情報発信するとともに、学習の場や体験の場を提供します。	・お茶の楽しみ方エトセトラ (お茶の効能や気軽な楽しみ方、お茶を使った料理の紹介・実習) 2回	3	中央公民館	実施していない
				地域児童と親御さんによるじゃがいも掘り体験、食育について説明し、子ども達の意識啓発を図ります。	地域ふれあい学習/樋口農園1回	4	広瀬公民館	実施していない
				地域児童の学び・遊び・食の事業の中で、食事の材料や内容について説明し、子ども達の意識啓発を図ります。	WAKU☆DOKIはっぴー実施 水富公民館会場 11回/年 広瀬公民館会場 8回/年	5	広瀬公民館	実施した
				地域児童の学び・遊び・食の事業の中で、食事の材料や内容について説明し、子ども達の意識啓発を図ります。	WAKU☆DOKIはっぴー実施 水富公民館会場 11回/年 広瀬公民館会場 8回/年	5	広瀬公民館	実施した

2 食育の推進に向けた取組

(3)食文化を継承し、持続可能な環境を大切にしていきます。

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
学 童 ・ 思 春 期	22	・地域の農産物を知り、農業体験をします。 ・日常の食事や学習で、家庭や地域の食文化に触れ、体験をします。 ・食の循環と食品ロスについて知り、食べ物に感謝し大切に食べます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科の授業や特別活動等を通じて、植物や農作物を栽培する体験学習や指導を行います。</li> <li>・地場産物を給食に取り入れれます。</li> <li>・教科等を通じて地域の食文化の学習を進めます。</li> <li>・地域の食文化を知り、体験できる講座を実施します。</li> <li>・家庭での食事がおいしく、楽しい体験となるよう、保護者等に向けた啓発を進めます。</li> <li>・教科の授業や特別活動(委員会活動、給食指導等)を通じて食品ロスについて指導します。</li> <li>・学校給食で食を大切にすることを活動に取り組みます。</li> <li>・給食を好き嫌いなく食べるよう指導します。</li> </ul>	子どもたちが土と親しみながら作物を育て、その収穫の喜びを味わうなど、体験を通じ、農業の大切さを実感できるよう、保育所、幼稚園、小中学校において、農業体験事業を実施します。	学童農業体験事業実施校数 ・13保育所 ・1幼稚園 ・16小学校 ・7中学校	4	農業振興課	実施していない
				リーフレットの配布やデジタル連絡ツールの配信により、児童と保護者へ情報提供、啓発を実施します。また、児童の夏休み期間に学習の場を提供します。	朝食啓発リーフレット(小学1年生、小学5年生、中学1年生) 食事づくりカブリーフレット(小学3年生、中学1年生) 子どもお弁当教室(3回42人)	5	保健センター	実施していない
				「奥富の田んぼ1年プロジェクト(共催:柏原公民館)」の一つとして奥富小学校と共催し、授業として5年生を対象に手植えの田植え体験及び鎌による稲刈り体験を行います。また、本プロジェクトの一般(親子)参加部門においても①手植えによる田植え体験②鎌での稲刈りと葉を使ったかかし作り③鎌での稲刈り体験と炊き出しで実食し米をプレゼントすることで、保護者に向けた食育の啓発を進め、食品ロスの一助としました。	田植え体験1回、稲刈り体験1回 参加者はいずれも奥富小5年生 ①田植え体験参加者15名 ②稲刈り体験&かかし作り参加者25名 ③稲刈り&炊き出し実食参加者32名	5	奥富公民館	実施していない
				地域児童の学び・遊び・食の事業の中で、食事の材料や内容について説明し、子ども達の意識啓発を図ります。	WAKU☆DOKIはっぴーを実施 水富公民館会場 11回/年 広瀬公民館会場 8回/年	5	水富公民館	実施した
				地場産物などに関する内容の講座などを実施し、情報発信するとともに、学習の場や体験の場を提供します。	・お茶の楽しみ方エッセイ(お茶の効能や気軽な楽しみ方、お茶を使った料理の紹介・実習) 2回 ・抹茶を扱って、抹茶ラテを作ろう! 1回	4	中央公民館	実施していない
				親子でじゃがいもづくりを体験することにより、絆を深めるとともに「食」の大切さを学ぶため、地元農家やボランティアの協力のもと、柏原地区の畑を利用して親子で協力しながら、じゃがいもの収穫を実施しました。	【じゃがいもづくり体験教室】 対象:小学生とその保護者 参加者数:29名 実施回数:1回	5	柏原公民館	実施した
				地域児童の学び・遊び・食の事業の中で、食事の材料や内容について説明し、子ども達の意識啓発を図ります。	WAKU☆DOKIはっぴー実施 水富公民館会場 11回/年 広瀬公民館会場 8回/年	5	広瀬公民館	実施した
				地域児童の学び・遊び・食の事業の中で、食事の材料や内容について説明し、子ども達の意識啓発を図ります。	WAKU☆DOKIはっぴー実施 水富公民館会場 11回/年 広瀬公民館会場 8回/年	5	広瀬公民館	実施していない
				地産地消、食品ロス削減、栄養バランスなど食と環境について学び、夏野菜を使ったピザ作りを実施しました。	小学生親子対象 「親子エコ・クッキング」 参加者7名 1回	5	富士見公民館	実施していない

2 食育の推進に向けた取組

(3) 食文化を継承し、持続可能な環境を大切にしていきます。

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
				生活科や総合的な学習の時間の授業の一環としての農業体験学習やみどりの学校ファーム、お茶摘み体験等で農業体験学習を実施します。	全小中学校23校で推進、実施	4	教育指導課	実施していない
				・生活科や総合的な学習の時間の授業の一環としての農業体験学習やみどりの学校ファーム、お茶摘み体験等で農業体験学習を実施します。 ・社会科や総合的な学習の時間、給食の時間、道徳等で指導を推進します。	全小中学校23校で推進、実施	4	学校	実施していない
				埼玉県産・JAいるま野産・狭山市産を給食の取り入れ、献立表で周知します。	里芋やほうれん草・お茶など17品目、23,894kg使用。	5	給食センター	実施していない
		・地場産の作物を積極的に食べます。 ・家庭や地域の食文化を大切にし、次世代に伝えていきます。 ・食の循環と食品ロスについて知り、食べ物に感謝し、食品を買いすぎず、無駄にしないようにして食品ロスをなくします。	・地場産物のPRや地場産物を使った料理を体験できる場を増やします。 ・関係機関と連携し、地場産物の消費を推進します。 ・家庭や地域の食文化を伝える大切さを啓発します。 ・地域の食文化について知る機会となる講座等を実施します。 ・食品ロスの削減について啓発します。	・ごみ削減方策の一環として、食品ロス削減の啓発活動を行います。 ・手前どりPOPを市内スーパー、コンビニ等に配布し、棚に設置してもらうことで、利用者に対し、早期消費ができるものについては賞味・消費期限の近いものからの購入を促し、店舗での期限切れによる食品ロス削減を図ります。	手前どりPOP配布 (市内7店舗各20枚ずつ配布)	4	資源循環推進課	実施していない
				狭山市ビジネスサポートセンターにおいて、地場産物を活かした売り上げ拡大や創業支援を行い、消費者が産地や生産者を意識できる環境を醸成していきます。	狭山市ビジネスサポートセンターにおける相談件数(飲食業・農林水産業):120件	5	産業振興課	実施していない
				市内で行われるイベントで、地場産物に関する製品の販売促進及びPRを行います。	イベント回数1回 商工祭:参加者数約6,000人	4	商業観光課	実施した
				イベントを開催し地場産物のPRをするとともに、飲食の販売を行う。また、イベントへ出店し飲食の販売を行います。	【開催】 ・4月29日(月・祝) 狭山新茶と花いっぱいまつり開催 ・11月16日(土) 狭山市農業祭開催 【出店】 ・8月3日4日(土、日) 狭山市入間川七夕まつり出店(茶業協会) ・11月10日(日) さやま大茶会出店(茶業協会)	4	農業振興課	実施していない
				健康(=Wellness)を目指す過程(=Journey)を表現した「さやまウェルネスジャーニー」の取組や健康づくりに関係する団体の活動、健康づくり講座等で、食品ロスが発生しないように啓発に努めます。	すこやか体操普及指導員連絡会 役員会 5回 出前講座 3回 実施回数 678回 健康マイレージ登録会54回 SAYAMA Wellness Journey(さやまウェルネスジャーニー)3回	4	健康づくり支援課	実施していない

2 食育の推進に向けた取組

(3) 食文化を継承し、持続可能な環境を大切にしていきます。

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
青 壮 年 期 、 高 齢 期	23			各種生活習慣病予防教室、相談などの成人保健事業において実施します。また、公民館などからの依頼や出前講座などでも実施します。	血管いきいき教室(延べ6回延べ36人) 糖尿病予防教室(延べ6回延べ55人) 健康はなまる講座(延べ6回延べ40人) シェイプアップ体操(7回29人) にこにこランチ(3回17人) 一般健康相談(14回延べ24人) 減量個別相談(22回69人) 依頼健康教育(2回82名) シニアのための献立講座(3回36人)	5	保健センター	実施していない
				社会教育関係団体等と連携を図り、食品ロスの削減を図ります。	該当なし	1	社会教育課	実施していない
				子育て講座～管理栄養士さんに学ぶ～(共催:子育てプレイス奥富、講師:保健センター管理栄養士)の調理で使用する食材について、奥富地区在住の農業委員さんにご協力いただき、狭山市産の里芋の提供を受け使用しました。	開催回数1回(奥富公民館調理室) 参加者4名	5	奥富公民館	実施していない
				キューピー(株)による健康教室。食事をする大切さや高齢期の食事の摂り方を分かりやすく解説しました。	事業名 第4回ひたまり学級「野菜を楽しみもっと健康に！」 対象者 市内在住の65歳以上の方 参加者数 7名 事業実施回数 1回	5	新狭山公民館	実施した
				地域児童の学び・遊び・食の事業の中で、食事の材料や内容について説明し、子ども達の意識啓発を図ります。	WAKU☆DOKIはっぴーを実施 水富公民館会場 11回/年 広瀬公民館会場 8回/年	5	水富公民館	実施した
				地場産物などに関する内容の講座などを実施し、情報発信するとともに、学習の場や体験の場を提供します。	・お茶の楽しみ方エトセトラ(お茶の効能や気軽な楽しみ方、お茶を使った料理の紹介・実習) 2回 ・抹茶を挽いて、抹茶ラテを作ろう! 1回	4	中央公民館	実施していない
				地域児童の学び・遊び・食の事業の中で、食事の材料や内容について説明し、子ども達の意識啓発を図ります。	WAKU☆DOKIはっぴー実施 水富公民館会場 11回/年 広瀬公民館会場 8回/年	5	広瀬公民館	実施した